

## 東北デスティネーションキャンペーン4月1日スタート

東日本大震災発生から10年という節目の年に、東北6県を対象エリアとした大型観光プロモーション「東北デスティネーションキャンペーン（DC）」が行われる。東北6県の自治体や観光関係者とJR6社などが一体となって4月1日（木）に開幕。DCとしては初の6カ月間という長期開催となる。東北の魅力を発信すると同時に、コロナ禍で大きな影響を受けた宿泊業、飲食業、物産業などが、元気を取り戻すきっかけになってほしいと切に願っている。

「桜」「新緑」「果物狩り」「夏まつり」「地酒」「自然」「温泉」「グルメ」「ローカル鉄道」「歴史・城」「縄文」「震災伝承」など、東北の魅力を挙げればきりが無い。興味がある方はぜひ東北DCの特設サイト（<https://www.tohokukanko.jp/dc/>）をご覧ください。

冒頭でも触れたが、震災から10年という節目に展開される本DCには、まだまだ途上ではあるが、被災地復興の現状に触れてもらうという側面もある。その観点から筆者のお薦めを紹介したい。

震災を契機に復興道路としての三陸沿岸道の整備が加速、この3月6日に宮城県内の道路が仙台から気仙沼まで、1本でつながり、沿岸部へのアクセスは格段に向上した。観光地で温泉やグルメを楽しんだら、時間を作って、沿岸部へ。近年、三陸沿岸には被災した施設を震災遺構として整備したり、自然災害の脅威を後世に伝えるための伝承施設が各地に開設されている。そのような施設では、自身の被災した経験、家族・友人を失った悲しみを胸に秘め、語り部として活動されている方が大勢いる。その声に耳を傾けてほしい。震災から10年という節目だからこそ、現地で触れ合い、その心情に寄り添ってもらえれば。

新型コロナウイルスの見通しは不透明だが、東北DCを利用して1人でも多くの方に訪れてもらい、「東北のいま」を見て・聞いて・味わって、周りの人にも伝えてほしい。東北人の1人として、心よりお待ちしております。

河北新報社 営業部主任 鈴木守



■荒浜小  
車で30分ほどと仙台市中心部からもっとも近い震災遺構の一つ。語り部活動も行われる。



■南三陸キラキラ丼  
南三陸町の名物。四季折々の海産物がふんだんに盛り付けられている。4月いっぱいまでは「春告げ丼」、5月から「うに丼（写真）」が提供される。（写真提供 南三陸町観光協会）